

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-01-01-08
事務事業名	幼保連携事業		
事業開始年度	根拠法令・要綱等		
総合計画	大項目 基本目標	地域文化と人が輝くまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	未来を支える人材を育むまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	幼稚園	職・氏名
			電話
			64-1853

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	幼稚園・保育園の幼児 幼稚園・保育園の職員
目的(何のために)	教育・保育内容を相互に理解する。
行政活動(どのような方法で)	隣接する幼稚園・保育園の交流により、幼児と教員・保育士が共通理解する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	幼保の連携事業を実施することで、幼児教育・保育内容の共通理解を図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	幼保連携活動実施回数	回	54	61	69	
	幼保連携活動実施園	園	4	2	2	
	幼保連携活動参加延べ人数	人	3,110	2,246	3,075	
	事業費	直接事業費	千円	60	30	30
		人件費		2,860	950	558
		事業費計		2,920	980	588
	財源	国県支出金				
受益者負担		千円				
市一般財源			2,920	980	588	
必要人員	人	0.35	0.10	0.06		
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	幼保連携活動実施回数	説明	各園で幼保連携活動を実施した合計回数			
	結果指標量	回	54	61	69	
	対前年比	%	-	113.0%	113.1%	
	活動コスト	円	2,920,000	980,000	588,000	
	単位当たりコスト	円	54,074	16,066	8,522	
	幼保連携活動参加延べ人数	説明	各園で実施した幼保連携活動に参加した総園児数			
	結果指標量	人	3,110	2,246	3,075	
	対前年比	%	-	72.2%	136.9%	
	活動コスト	円	2,920,000	980,000	588,000	
単位当たりコスト	円	939	436	191		

事業の成果			
成果指標名	1園当たりの実施割合	式又は説明	実施回数 / 実施園
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	13.50	30.50	34.50
	対前年比	225.93%	113.11%
到達目標値	33.00	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)		
目的	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> A	
	行政活動	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	課題認識 幼保一体化を進めているため、教育・保育内容の共通理解をカリキュラム作成をしていくために必要な事業である。
		市 民 二 一 一	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	
		市 の 関 与	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コ ス ト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E> B	
	手 段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が妥当でない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識 幼稚園・保育園が隣接する2地域のみを対象として効率化を図っている。	
	職 場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目 的 達 成 度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識 事業の効果を高めるため、施設整備の課題を合わせて検討していく必要がある。	
	市 民 参 画 度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説 明	幼稚園・保育園が隣接している地域のみを対象として実施している。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
目標値	75	結果指標量	3,200
成果指標量	38.00		

総合評価		評価区分 <A~E>	B
幼保一体化施設整備を課題としている現状から、連携活動を進め教育・保育内容について共通理解し、カリキュラムの作成や具体的な運用をしていくことが必要である。			

平成21年度以降の方向性		説 明	平成20年度で真正・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	幼保連携を進めていく上での課題を明確にして実施する。	22年度	幼保一体施設整備が進んだ時、幼保の連携が充実したものとなる。